

地域文化を生かしたまちおこし
「雪舟を通じて新たな交流を生み出す」

第十三回
雪舟
サミット
【記録集】

SESSHU SUMMIT
IN IBARA



【開会】



開会



【開会挨拶】

第13回雪舟サミット実行委員会委員長
瀧本豊文 井原市長

皆さん、こんにちは。
この井原の山々の紅葉が、今盛りではないかなと思っておりますけれども、今日は日中が好天に恵まれた中、第13回雪舟サミットをこの井原市で開催したところ、雪舟ゆかりの関係自治体の皆様のご参加をいただきまして、このように盛大に開催できますこと、開催市といたしまして、皆様方に心から厚く御礼を申し上げますと同時に、心からの歓迎を申し上げたいと思います。

さてこの雪舟サミットでございますけれども、雪舟ゆかりの自治体が相集い、雪舟の偉業を顕彰しながら、地域の活性化を情報交換して地域の振興発展を願うことを目的として開催され、



今年で第13回を数えるわけでございます。この井原市におきましては平成7年度でしたか、旧芳井町で引き受けて開催いたしました。そしてご承知のとおり平成17年3月にその旧芳井町、そして旧美星町と井原市が合併いたしまして、この井原市の名のもとに開催市として開催いたしますのは初めてのことで、私自身大変感慨深いものがあるわけでございます。昨今、地方分権、また地域主権ということが叫ばれており、地域が特色あるまちづくりを進めていかなければならない時代であろうと思っております。そうした中で、今日は雪舟ゆかりの5市1町の自治体の皆さんが相集いましてサミット会議を開催する予定にいたしており、連携をさらに深めながら務めてまいりたいと思っております。

井原市におきましては、今年は特に岡山県が国民文化祭をお受けになられまして、県下各地におきまして10月の30日から11月の7日の間で

特色ある文化行事を開催されたところでございます。井原市におきましては一方で中国地方の子守唄の発祥の地ということで、これも子守唄のサミットを開催いたしまして10月の31日には子守唄フェスティバルも開催をいたしたところでございます。また平櫛田中ひらくしでんちゅうにまつわる彫刻展、これも10月の30日から11月の7日の間で開催をいたしたところでございます。皆さんが文化で燃えておる時期に、この雪舟サミットを引き継いで開催できることは大変喜びに絶えないところでございます。何はおいても井原市というのは文化薫るまちということで、この雪舟サミットを通じまして、また全国に情報発信してまいりたいと、かように思っておるところでございます。後ほどサミット会議の中で井原市についてのご紹介を縷々るる申し上げたいと思っておりますけれども、今日はこのサミットが実り多い会となりますことを心から念願するものであります。

終わりになりますけれども、今日も地元で雪舟を顕彰する活動をいただいております団体の方々、そして雪舟に関心のある市民の方々もこうしてご参加をいただいております。皆様方の平素のそうしたお取り組みに深甚しんじんなる敬意と感謝を申し上げます次第でございます。そして今日ご参加いただいております関係自治体のさらなるご発展を心からご祈念を申し上げまして歓迎のご挨拶とさせていただきます。本日はどうも皆さんありがとうございます。



【歓迎挨拶】

高田正弘
井原市議会議員



皆さん、こんにちは。秋も深まってまいりまして、秋から冬という季節になりました。こういった中で第13回の雪舟サミットがこのように大勢の皆さんのご参加のもとでできますこと、心からお喜びを申し上げたいと思っております。本日は大分県の豊後大野市、また福岡県の川崎町、山口県の山口市さん、島根県益田市さん、そして地元の総社市さんということで、雪舟のゆかりの自治体関係者の皆様が当井原市へお越しくださいました。心からご歓迎を申し上げます。井原市議会を代表いたしまして本当にご歓迎を申し上げるわけでありませうけれども、ちょうど2年前の前回ですね、豊後大野市さんに出向きまして雪舟サミットをいたしました。雪舟で有名になったあの滝のところでは記念撮影もさせていただきましたけれども、丁寧なおもてなしを受けたことを昨日のように思うわけでありませうけれども、大変ありがとうございました。この当井原市で十分な歓迎ができたらいいな、とこんなふうに思っておるところでございます。

また、雪舟という室町時代の1人の画僧を通じてそれぞれの自治体の文化を生かしたまちづくりが進められているわけでございますが、こうした歴史上の著名人を守り伝えていくことは大変有意義なことだと思いますし大切なことだと思っておるところでございます。

当市におきましては他にも戦国の武将北条早雲ひらくしでんちゅうや、また近代彫刻の巨匠であります平櫛田中翁、そしてまた案外知られてないんですけれども、「東洋のビール王」、「日本のビール王」

と言われた馬越恭平翁、この方はサッポロビールの創立者でありまして、ちょうど今年がエビスビールの120周年記念ということで、エビスビールのラベルに「120」と書いたラベルが発売されておりますけれども、こういった素晴らしい方の出身地でありますし、また日中友好の懸け橋となりました初代の日中友好協会の理事長でありますけれども、内山完造先生のお生まれになったところでもあります。そういった意味でこの地域、歴史上の偉人賢人が生まれ育ったところでありまして、素晴らしい方を輩出している文化薫るまちであります。

こういったことで本日の基調講演、そしてまたサミット会議、また明日の現地視察等々を通じまして、有意義な交流ができますことを祈念いたしておるところでございます。時間がございましたら、井原市の歴史文化のあとをご探訪いただければ大変幸いです。

最後になりましたけれども、参加自治体各様のさらなるご発展とご出席の皆様方のご健勝にてのご活躍をお祈りいたしまして、歓迎の言葉といたします。本日は大変おめでとうございます。



【祝辞】

岡山県知事代理 岡山県県民生活部長
平松卓雄様



ご紹介をいただきました岡山県県民生活部長の平松でございます。第1回雪舟サミットが平成2年に総社市で開催されて以来、13回目のサミットがこの井原市で開催されることを心よりお喜びを申し上げます。本日は本来なら知事が出席をしてご挨拶を申し上げるところでございますが、所用のため私がメッセージを預かって参っておりますので、代読をさせていただきます。

祝辞 第13回雪舟サミットが、ここ井原の地で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、雪舟ゆかりの5市1町からお越しいただいた皆様を心から歓迎いたします。

サミットにお集まりの関係市町の皆様におかれましては平成2年から画聖と称される雪舟の業績を顕彰するとともに、雪舟を通じて友好の輪を広げることを目的としてさまざまな交流事業を活発に行っておられ、その熱意ある取り組みに対し心から敬意を表します。

さて、今月7日に閉幕しました「第25回国民文化祭おかやま2010」には県内外から大勢の方々が会場を訪れ、全体の参加者数は目標の160万人を大きく上回る見込みとなっております。

多くの出演者や参加者同士の交流の輪が広がり、互いに文化の楽しさを共有することができた実りの多い祭典となりましたことは、国民文化祭に携わっていただいた市町村や文化団体等の関係者各位のご尽力と県民の皆様のご協力のたまものであり、この場をお借りして心から厚くお礼を申し上げます。

「国民文化祭・おかやま」から生まれた文化の息吹は新しい風となり未来へ向けて吹き始めました。その文化の風に乗れ、先人から受け継いだ文化を大切に守り、新しい文化の創造に取り組むとともに、郷土に愛着と誇りを持ち、心豊かに暮らしていける岡山を築いていかなければと決意を新たにしているところでございます。

また国民文化祭に併せて岡山県立美術館で開催された特別展覧会「岡山・美の回廊」では「山水図」をはじめ国宝4点を含む13点もの雪舟の名作の数々が展示されました。これだけ多くの作品が一堂に会することはまたとない機会であり、美術ファンはもとより多くの来館者にその魅力にじかに触れていただけたことと存じます。

このたびのサミットは「地域文化を生かした

まちおこし～雪舟を通じて新たな交流を生み出す～」がテーマだと伺っております。雪舟にゆかりのある地の皆様が一堂に会して連携を深められることは、住民の方々の地域への愛着と誇りを醸成するとともに、これを契機に今後さまざまな分野での交流がより一層促進され、地域のさらなる発展に大いに寄与するものと期待をしております。

終わりにサミットのご盛会とお集まりの皆様
の今後ますますのご活躍とご健勝を心から祈念
申し上げお祝いの言葉といたします。

平成22年11月20日 岡山県知事 石井正弘 代読

本日は誠にありがとうございました。





11月13日(土)～11月20日(土) 雪舟サミット記念水墨画展(アクティブライフ井原 ふれあいプラザ)



ふる里子供神楽による「大蛇退治」

